

総 会 次 第

平成25年6月29日（土）
10時00分～11時30分
長岡京駅前バンビオ1号館

1. 開会の言葉（司会）荒木
2. 挨拶（理事長）稲岡理事長
3. 議長選出（司会）荒木
4. 議事録署名人選出（ここから議長）竹内、野本、世良田（書記 大西）
5. 審議事項（議案の決議）
 - 第一号議案 平成24年度事業報告および決算報告について
事業報告（野本理事）、
監査報告（竹内監事）
決算報告（小椋理事）
 - 第二号議案 平成25年度事業計画並びに収支予算について
事業計画（稲岡理事長）
収支予算（小椋理事）
6. 来期理事の相談 稲岡理事長
7. 連絡報告事項
8. 閉会の言葉（司会）荒木

NPO法人 竹の学校 2012年度 活動報告

2013.6.28

年 月	作業日数	会員参加数	(ゲスト人数)	活動内容
12.06	7	81	(4)	肥料の散布・「サバエ」野山にある放置竹林(1500㎡)の枯れ竹の整理・間伐作業
12.07	9	100	(22)	野山の放置竹林の枯れ竹の整備・間伐作業をして竹材(6m×220本)依頼者(椿本チェーンKK)へ搬出 竹林景観フォーラム関係者(20名)竹林見学 第5回定例総会(7/21 25名)開催
12.08	5	46		京都市三条会商店街へ「京都の七夕用」竹を搬送 竹林間伐・焼却作業
12.09	9	117	(8)	竹工芸作業(竹行灯、竹灯籠)・竹炭(チップ)袋詰め作業 「天王山・西山合同フォーラム」に参加。市制40周年記念式典で環境保全協力団体として、記念表彰をうけた
12.10	11	148	(1)	長岡京「竹あそび」に竹行燈・竹灯籠を出品。 藁を法隆寺地域の知人から譲り受け収集搬入。
12.11	9	122	(1)	藁を城陽市の知人から譲り受け収集搬入。バックホーで土堀り。藁敷き・肥料撒き・土入れ作業
12.12	7	92		藁敷き・土入れ作業・間伐竹の焼却
13.01	7	109		土入れ作業・間伐竹の焼却・倉庫の整理・竹炭用の竹準備 金ヶ原地区の放置竹林(1500㎡)の整備・第1回の竹炭焼き
13.02	7	84	(4)	金ヶ原地区の放置竹林の整備・竹林(B.C地区)の整備 竹の焼却
13.03	10	128	(18)	NHK(美の壺)の撮影を3/8～3/10に実施した。 第2回の竹炭焼き・竹林(B地区)の竹焼却 タケノコ堀り作業を開始
13.04	11	168	(68)	タケノコ堀り作業・運搬機の塗装・運搬機用納屋の整備 12日NHK TV [美の壺]で竹の学校が管理している竹林を放映した。ゲスト8チーム(68名)がタケノコ堀りに参加
13.05	10	122	(55)	新竹の先止作業・竹林整備団体(35名)が間伐作業に参加
[計]	104日	1370人	(224)人	

平成24年度事業報告書

平成24年6月1日から平成25年5月31日まで

特定非営利活動法人 竹の学校

1 事業の成果

NPO法人として5年が経過して、会員の高齢化・世代交代等の課題はあるが、放置竹林整備作業、伐採竹の有効活用を通じ、長岡京市の竹林美化活動とその啓発活動に寄与することができた。

また今年は特に、NHKのTV放映の取材に協力、美しい長岡京の竹林を「竹林は丹精込めた光の空間」と表現して頂き、手間を掛けて維持している管理竹林(タケノコ畑)の美しさと、それを守る放置竹林整備のボランティア活動も紹介頂き、長岡京の美しい竹林とその維持活動を日本中に知ってもらえることが出来た。

2 事業の実施に関する事項

【特定非営利活動に係る事業】

① 事業名 放置竹林整備事業

実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額(概算)
毎水・土曜日 9時~12時	長岡京市長法寺竹林、 野山竹林及び金ヶ原竹林	延べ275名	企業 34名	135千円
事業内容	<p>【目的】 放置竹林を整備し、タケノコ畑を再生、水資源の涵養、竹林の環境美化活動及び竹の有効利用。</p> <p>【内容】 定期活動日に放置竹林に入り、枯れ竹を集め焼却し、間伐作業を実施。竹藪の整備を実施し、環境美化を行った。活動拠点周辺の地元地主の竹林も枯れ竹処理等を実施した。 さらに野山竹林は地主、企業と竹の学校が協力して青竹を節電対策用に活用する取り組みを実施し竹220本提供した。今年から金ヶ原竹林も着手して枯れ竹の処理が終わった。 竹の有効活用として、移動式炭化炉で竹炭(135kg)を作りサンプル提供を実施し利用拡大を模索した。さらに野焼した炭を5~8mmに粉碎して、有機栽培農業の土の改良用に利用の拡大を検討した。</p> <p>【活動の成果と課題】 放置竹林整備面積も11.2万㎡になり、水資源の涵養にも寄与し、周辺環境美化ができ、地主様、住民より感謝されている。 現在、作業者の高齢化のため、会員の若返りをして活動の継続化をして行くことが課題。 企業のボランティアの参加しやすい動機づくりを長岡京市役所と考えてゆきたい。 竹を焼却処理だけでなく、竹の有効活用する方法を検討してゆく。</p>			

平成24年度事業報告書

平成24年6月1日から平成25年5月31日まで

特定非営利活動法人 竹の学校

1 事業の成果

NPO法人として5年が経過して、会員の高齢化・世代交代等の課題はあるが、放置竹林整備作業、伐採竹の有効活用を通じ、長岡京市の竹林美化活動とその啓発活動に寄与することができた。

また今年は特に、NHKのTV放映の取材に協力、美しい長岡京の竹林を「竹林は丹精込めた光の空間」と表現して頂き、手間を掛けて維持している管理竹林(タケノコ畑)の美しさと、それを守る放置竹林整備のボランティア活動も紹介頂き、長岡京の美しい竹林とその維持活動を日本中に知ってもらえることが出来た。

2 事業の実施に関する事項

【特定非営利活動に係る事業】

① 事業名 放置竹林整備事業

実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額(概算)
毎水・土曜日 9時~12時	長岡京市長法寺竹林、 野山竹林及び金ヶ原竹林	延べ275名	企業 34名	135千円
事業内容	<p>【目的】 放置竹林を整備し、タケノコ畑を再生、水資源の涵養、竹林の環境美化活動及び竹の有効利用。</p> <p>【内容】 定期活動日に放置竹林に入り、枯れ竹を集め焼却し、間伐作業を実施。竹藪の整備を実施し、環境美化を行った。活動拠点周辺の地元地主の竹林も枯れ竹処理等を実施した。 さらに野山竹林は地主、企業と竹の学校が協力して青竹を節電対策用に活用する取り組みを実施し竹220本提供した。今年から金ヶ原竹林も着手して枯れ竹の処理が終わった。 竹の有効活用として、移動式炭化炉で竹炭(135kg)を作りサンプル提供を実施し利用拡大を模索した。さらに野焼した炭を5~8mmに粉碎して、有機栽培農業の土の改良用に利用の拡大を検討した。</p> <p>【活動の成果と課題】 放置竹林整備面積も11.2万㎡になり、水資源の涵養にも寄与し、周辺の環境美化ができ、地主様、住民より感謝されている。 現在、作業者の高齢化のため、会員の若返りをして活動の継続化をして行くことが課題。 企業のボランティアの参加しやすい動機づくりを長岡京市役所と考えてゆきたい。 竹を焼却処理だけでなく、竹の有効活用する方法を検討してゆく。</p>			

② 事業名 たけのこ伝統栽培の保存継承

実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額(概算)
毎水・土曜日 9時～12時	長岡京市 長法寺竹林	約700人	70名 (エコグループ)	207千円
事業内容	<p>【目的】 京都式軟化栽培法の継承により、美しい竹林を維持。 エコツアー受け入れによって、竹林を開放し、美化活動への啓発に寄与する。</p> <p>【内容】 一連の作業（新竹の先止め・下草刈・肥料撒き・ワラ敷き・土入れ）を実施してきたが、異常気象(高温継続・雨不足)・竹の葉異常等で、収穫量が通年の8割程度の作柄となった。 収穫したタケノコ(1000kg)は会員・エコツアー体験者等に頒布した。 エコツアー用に「竹林講座」を作成し、環境保全・水資源涵養につながることを講義した。</p> <p>【活動の成果と課題】 会員・エコツアー体験者に安価でタケノコを頒布することで活動を維持。 年々高齢化していく中での作業(土入れの運搬作業)の負担が大きい。会員の若返り、栽培方法の体験受け入れ、機械化の必要性も検討が急務である。</p>			

③ 事業名 竹材の有効活用/竹工芸

実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額(概算)
農閑期の毎土曜日 (6～9、1～3月) 9時～12時	長岡京市 長法寺竹林の作業場	4～10人	展示会に来場の一般の市民 (販売は無し) 約1000人	10千円 (電源関係)
事業内容	<p>【目的】 竹林の伐採竹の孟宗竹を使った竹行灯等の製作、および作品展示を通じ、竹の新しい文化を創造し、地域活動に貢献するとともに、啓発活動に寄与する。</p> <p>【内容】 主に竹林の農閑期を利用して、定期活動日に会員有志で活動。 本年度の各種イベントへの製作品展示は以下の通り。 ・09/15「天王山・西山森林ボランティア交流会」竹行灯等を展示 ・10/13「竹あそび」竹行灯を歩道に展示 ・11/17「長岡京市環境フェア」竹行灯展示、製作デモ ・03/30「竹カフェ・フォーラム」パネルディスカッションに参加、竹行灯展示</p> <p>【活動の成果と課題】 作品のレベル・芸術性の評価も高く、展示会で知名度も高くなり、竹の学校の活動と、伐採竹を活用する竹の文化活動の広報に貢献できた。 農閑期と不定期な活動のため、実質会員以外に竹工芸のみの参加希望者を受け入れていない。竹林整備作業に賛同頂ける希望者ということで現会員のみで活動。</p>			

④ 事業名 地域活動／竹あそびに参加

実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額(概算)
平成24年10月13日(土) 10時～20時	長岡京市長岡公園	延べ65名	市民 7000名	36千円

事業内容	<p>【目的】 地域貢献活動と放置竹林の啓発活動</p> <p>【内容】 竹あそびに参加して、竹林に興味を持っていただき啓発活動をして行く。 今回は竹灯籠を600本提供、竹林に置き点灯。竹工芸の作品竹行灯も散策道の両サイドに展示した。 竹ほうき10本を竹あそびに提供と竹ほうき作りの実施。</p> <p>【活動の成果と課題】 竹工芸に興味を持っていただくことができ、竹に親しむ機会になった。 長岡京市民に竹の学校をアピールできた。 今回竹灯籠の提供が主であったが、竹の有効利用のため、竹ほうき作りをして市民に竹に親しんでいただけた。 竹あそびを遊びだけでなく、参加者、協賛グループで竹林整備ボランティアをしていただける仕掛け作りが必要と思う。 竹細工、竹を活用したものを作り、販売してボランティア支援金の確保も検討したい。</p>
------	--

【その他の活動】

- ① 7月8日 竹林景観ネットワークが竹の学校見学、 15名参加
- ② 8月3日 京のセタに協賛 京都三条会商店街と西陣本通に笹搬入
- ③ 8月25日 MKタクシー様にそうめん流し用竹提供
- ④ 9月15日 天王山・西山合同フォーラム参加
- ⑤ 11月17日 長岡京市環境フェアに参加
- ⑥ 3月30日 京都竹カフェ フォーラムパネルディスカッション参加
- ⑦ 4月20日 三菱電機労組のボランティア作業応援
- ⑧ 5月25日 NTT労働組合の竹林ボランティア作業受入れ 34名参加

② 事業名 たけのこ伝統栽培の保存継承

実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額(概算)
毎水・土曜日 9時～12時	長岡京市 長法寺竹林	約700人	70名 (エコグループ)	207千円
事業内容	<p>【目的】 京都式軟化栽培法の継承により、美しい竹林を維持。 エコツアー受け入れによって、竹林を開放し、美化活動への啓発に寄与する。</p> <p>【内容】 一連の作業（新竹の先止め・下草刈・肥料撒き・ワラ敷き・土入れ）を実施してきたが、異常気象(高温継続・雨不足)・竹の葉異常等で、収穫量が通年の8割程度の作柄となった。 収穫したタケノコ(1000kg)は会員・エコツアー体験者等に頒布した。 エコツアー用に「竹林講座」を作成し、環境保全・水資源涵養につながることを講義した。</p> <p>【活動の成果と課題】 会員・エコツアー体験者に安価でタケノコを頒布することで活動を維持。 年々高齢化していく中での作業(土入れの運搬作業)の負担が大きい。会員の若返り、栽培方法の体験受け入れ、機械化の必要性も検討が急務である。</p>			

③ 事業名 竹材の有効活用/竹工芸

実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額(概算)
農閑期の毎土曜日 (6～9、1～3月) 9時～12時	長岡京市 長法寺竹林の作業場	4～10人	展示会に来場の一般の市民 (販売は無し) 約1000人	10千円 (電源関係)
事業内容	<p>【目的】 竹林の伐採竹の孟宗竹を使った竹行灯等の製作、および作品展示を通じ、竹の新しい文化を創造し、地域活動に貢献するとともに、啓発活動に寄与する。</p> <p>【内容】 主に竹林の農閑期を利用して、定期活動日に会員有志で活動。 本年度の各種イベントへの製作品展示は以下の通り。 ・09/15「天王山・西山森林ボランティア交流会」竹行灯等を展示 ・10/13「竹あそび」竹行灯を歩道に展示 ・11/17「長岡京市環境フェア」竹行灯展示、製作デモ ・03/30「竹カフェ・フォーラム」パネルディスカッションに参加、竹行灯展示</p> <p>【活動の成果と課題】 作品のレベル・芸術性の評価も高く、展示会で知名度も高くなり、竹の学校の活動と、伐採竹を活用する竹の文化活動の広報に貢献できた。 農閑期と不定期な活動のため、実質会員以外に竹工芸のみの参加希望者を受け入れていない。竹林整備作業に賛同頂ける希望者ということで現会員のみで活動。</p>			

④ 事業名 地域活動／竹あそびに参加

実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額(概算)
平成24年10月13日(土) 10時～20時	長岡京市長岡公園	延べ65名	市民 7000名	36千円

事業内容	<p>【目的】 地域貢献活動と放置竹林の啓発活動</p> <p>【内容】 竹あそびに参加して、竹林に興味を持っていただき啓発活動をして行く。 今回は竹灯籠を600本提供、竹林に置き点灯。竹工芸の作品竹行灯も散策道の両サイドに展示した。 竹ほうき10本を竹あそびに提供と竹ほうき作りの実施。</p> <p>【活動の成果と課題】 竹工芸に興味を持っていただくことができ、竹に親しむ機会になった。 長岡京市民に竹の学校をアピールできた。 今回竹灯籠の提供が主であったが、竹の有効利用のため、竹ほうき作りをして市民に竹に親しんでいただけた。 竹あそびを遊びだけでなく、参加者、協賛グループで竹林整備ボランティアをしていただける仕掛け作りが必要と思う。 竹細工、竹を活用したものを作り、販売してボランティア支援金の確保も検討したい。</p>
------	--

【その他の活動】

- ① 7月8日 竹林景観ネットワークが竹の学校見学、 15名参加
- ② 8月3日 京のセタに協賛 京都三条会商店街と西陣本通に笹搬入
- ③ 8月25日 MKタクシー様にそうめん流し用竹提供
- ④ 9月15日 天王山・西山合同フォーラム参加
- ⑤ 11月17日 長岡京市環境フェアに参加
- ⑥ 3月30日 京都竹カフェ フォーラムパネルディスカッション参加
- ⑦ 4月20日 三菱電機労組のボランティア作業応援
- ⑧ 5月25日 NTT労働組合の竹林ボランティア作業受入れ 34名参加

平成24年度 特定非営利活動に係る事業会計収支報告書

(平成24年6月1日から平成25年5月31日まで)

特定非営利活動法人 竹の学校

(単位:円)

科目	金額		
I 収入の部			
1. 受取会費			
新会員受取会費	1,000		
正会員受取会費	31,000	32,000	
2. 事業収入			
筍栽培保存継承			
入山協力金	32,500		
筍頒布料	502,850		
発送料、箱代	71,300		
竹、竹炭頒布	11,600		
地域活動	44,425	662,675	
3. 補助金収入			
地下水保全活動補助金	135,813		
自己負担金	67,907	203,720	
4. 寄付金収入			
寄付金	63,047	63,047	
5. 雑収入			
雑収入	30,134	30,134	
当期収入合計		991,576	
前期繰越金		923,996	
収入合計			1,915,572
II 支出の部			
1. 事業			
地下水保全活動	149,629		
荒廃竹林整備	14,477		
筍栽培の保存継承	207,562		
竹炭作りとシイタケの原木栽培	9,282		
地域活動	36,977	417,927	
2. 管理費			
借入金返済支出	308,180		
地代家賃	111,920		
交通費	100,287		
荷造運賃	56,490		
補修費	56,823		
消耗品費	17,053		
宣伝広告費	13,790		
福利厚生費	20,842		
通信費	4,216		
交際費	17,972		
会議費	12,320		
租税公課	5,100		
水道光熱費	2,000		
図書費	15,490		
その他	8,236	750,719	
当期支出合計			1,168,646
当期正味財産増減額		126,930	
前期繰越正味財産額		619,996	
次期繰越正味財産額			746,926

平成24年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成25年5月31日 現在

特定非営利活動法人 竹の学校

(単位:円)

科目・適用	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	746,926		
流動資産合計		746,926	
2. 固定資産			
固定資産合計	0	0	
資産合計(A)			746,926
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計(B)			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産(C)		619,996	
当期正味財産増加額(D-C)		126,930	
正味財産合計(A-B=D)			746,926
負債及び正味財産合計(B+D)			746,926

平成24年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

平成25年度5月31日 現在

特定非営利活動法人 竹の学校

(単位:円)


科目・適用	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金	37,339	
普通預金	189,275	
京都銀行	520,312	
ゆうちょ銀行		
流動資産合計		746,926
2. 固定資産		
固定資産合計	0	0
資産合計(A)		746,926
II 負債の部		
1. 流動負債		
前受金	0	
流動負債合計		0
2. 固定負債		
長期借入金	0	
固定負債合計		0
負債合計		0
正味合計		746,926

非特定営利活動促進法 第18条の規定に基づき、平成24年6月1日から平成25年5月31日までの事業年度に関わる財産の状況を監査いたしました。


監査の方法は、会計帳簿及びこれに関する資料を調査し、該当事業年度に関わる財産目録、貸借対照表及び収支計算書について検討いたしました。

監査の結果、財産目録、貸借対照表及び収支計算書は、当法人の財産の状況を適正に表示しているものと認めます。

監事

錦織 努 

監事

竹内 復夫 

平成25年度（平成25年6月～平成26年5月）事業計画

事業を継続し、放置竹林の整備と竹材有効活用と地域活動に取り組む。

	実施時期・目標
1) 放置竹林整備作業	
①長法寺A竹林	タケノコ栽培・・・3) 項参照
②長法寺B/C竹林	間伐作業
③野山竹林	伐採作業・伐採竹搬出
④金ヶ原竹林	伐採作業・伐採竹搬出
2) 竹材の有効利用	
①伐採竹の竹炭焼き作業、竹粉炭、竹チップの検討	8月・2月
②伐採竹のツバキエマソン殿のエコ支援 竹すだれ	7月
③伐採竹を立命館中高部の新校舎への内装材適用支援	8～10月
④伐採竹で竹工芸・竹細工	毎月第1・3(土) (4.5.11.12月以外)
3) 京たけのこの生産と技術継承（長法寺A竹林）	
①京都式軟化栽培法の継承	新竹心止め5月 下草刈り 7月 施肥 4・8・1月 間伐 9～11月 藁敷き 11月 土入れ 12月
②土入れに新運搬車とユンボを利用拡大 （高齢化対策のための機械化）	同上
③施肥方法の変更（効果改良・作業軽減）	4・8・11月
4) 地域活動・支援活動	
①エコツアーの受入れ たけのこ掘り体験 間伐作業の体験	4・5月 11・12月
②放置竹林の周辺の美化活動と長法稲荷の美化	4ヶ月毎
③竹工芸品（主に竹行灯）の展示による広報活動	前年並み（4回）
④竹あそび準備 竹灯籠づくり	9月
⑤京たけのこ栽培支援と間伐作業のアドバイス	3団体程度
⑥他グループとの協業	3団体程度
⑦京の七夕に協賛	7月

以 上

平成25年度 特定非営利活動に係る事業会計収支予算書

(平成25年6月1日から平成26年5月31日まで)

特定非営利活動法人 竹の学校

(単位:円)

科 目	25年度予算金額	
I 収入の部		
1. 会費・入会金収入		
入会金収入	3,000	
会費収入	30,000	33,000
2. 事業収入		
筍栽培保存継承		
入山協力金	35,000	
筍頒布料	500,000	
発送料、箱代	70,000	
竹、竹炭頒布	10,000	
地域活動	45,000	660,000
3. 補助金収入		
地下水保全活動補助金	161,893	
自己負担金	80,947	242,840
4. 寄付金収入		
寄付金	50,000	50,000
5. 雑収入		
雑収入	30,000	30,000
当期収入合計(A)		1,015,840
前期繰越収支差額		746,926
収入合計(B)		1,762,766
II 支出の部		
1. 事業		
地下水保全活動	200,000	
荒廃竹林整備	45,000	
筍栽培の保存継承	250,000	
竹材有効活用	15,000	
地域活動	50,000	560,000
2. 管理費		
借入金返済支出	0	
地代家賃	120,000	
交通費	120,000	
荷造運賃	10,000	
補修費	70,000	
消耗品費	20,000	
宣伝広告費	20,000	
福利厚生費	22,000	
通信費	8,000	
交際費	20,000	
会議費	12,000	
租税公課	5,000	
水道光熱費	2,000	
図書費	15,000	
その他	10,000	454,000
当期支出合計(C)		1,014,000
当期収支差額(A) - (C)		1,840
次期繰越収支差額(B) - (C)		748,766

平成25年度作業責任者（案）

1. 京たけのこ生産、頒布担当 野本、窪田、塚崎。竹内、川路、原、池田
2. 経理 担当 小椋、(竹内、大西・・・チェック時限定)
3. 竹林伐採整備 担当 世良田、梶原
4. 竹工芸 担当 澤、稲岡、辻井、尾崎
5. 花壇の維持管理 担当 稲岡(き)、高橋
6. 備品管理(物置管理)担当 竹内、錦織
7. 広報 竹林日記 担当 山本
ホームページ管理・エコツアー受入れ担当 稲岡
8. 竹炭作り 担当 窪田、小椋
9. 木工細工(間伐材活用)担当 野本、荒木
10. 竹あそび 担当 稲岡
11. 京の七夕 担当 世良田
12. 外渉窓口 担当 小椋、世良田、稲岡(WEB)

担当者は業務の実行と管理をお願いします。担当以外の人にも積極的な協力をお願いします。